

## AA の活動について 追加資料 2

### AA メンバーが患者さんたちにしてくれること

後藤 恵 (成増厚生病院診療部長)

(以下は、そういうことが出来る場合があるという意味であり、必ずやってくれるわけではありません)

メッセージを運ぶ：(自分たちの飲酒一断酒経験を話に来てくれる)

AA のグループや個人が、病院や診療所で、患者向けに自分たちの話をしてくれる  
効果的な疾病教育である 患者が自分たちの回復の道筋を理解しはじめる  
入院・通院している患者に『回復の共同体 (仲間)』を提供する 居場所を提供する  
患者は仲間の力を借りれば回復できると理解して希望を持つ。努力し始める。  
患者は話してくれた先輩をお手本にする 同じグループに入る 質問する  
病院や診療所の職員教育としても非常に有効である

グループワークの主催： 患者のミーティング (話し合いまたは集団療法) の司会をする  
そのなかで疾病教育しつつ、12 ステップや 12 の伝統を伝える  
回復の手本を示す (こんなこともできるようになるんだー)  
職員には言えなくても、仲間には正直に話す 嘘はすぐに見破られる

患者さんの付き添い： 仲の良い人や、筋を通して仲間から頼まれた場合は入院や通院につき添う。  
家族の力になる。(家族の話は聞かなくても仲間の言うことは聴く人が多い)  
急病で倒れている人、身動きできない患者を助ける。いち早く異常を察知する。  
ミーティングや役所の手続き・家さがし・職探しなどにも付き添ってくれる。  
依存症の患者は、不安や恐怖のために新しい行動に踏み出せないなので、付き添  
いがいると早く治療につながり、早く回復できる。仲間として迎え入れること。

スポンサーシップ 特別な先輩と後輩の関係：

家族ぐるみの関係に発展することも。AA のタテ糸 (横糸は仲間の関係——経験と力と希望の分かち合い)  
一緒に AA に行く、役所に行く、山に登る、展覧会に行く、キャンプや釣りに行く、家を探す、職場に  
出向くなど、行動療法の支援をしてくれる。『飲酒の不要な生き方』を身につける手助けをする。  
12 ステップを中心とした、AA の回復の知恵を伝え、患者が断酒して幸せになるように助ける。  
患者に自信を与え自尊心を育てて治療意欲を引き出し、断酒を維持させる。  
生き方の手本を示し、回復の希望を与え、現実には幸せをつかむよう具体的に提案・助言する。

仲間として後輩の患者さんを AA やセミナーに連れていく (役割をもらう)：

一緒に行動すると、一人より早く確実に回復する 連れていくことによってさらに回復が進む  
患者は役割を与えられる (ミーティングにつれて行く、会場の鍵を開ける、新しく来た人に説明する等)  
AA のグループで役割をもらうと、患者の能力が開発され、自尊心が醸成される。積極的に治療に取り組み断酒を継続する。職場や家庭で義務を果たして受け入れられ愛される人に戻る (なる)。